

令和2年度(2020年度)

管理事業名	勤労者会館事業			総合計画の体系	大綱 7 政策 1 施策 2	都市魅力 地域経済の活性化を図るまちづくり 就労と働きやすい環境づくりへの支援
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 5	労働費	(項) 1	労働諸費	(目) 2 勤労者会館費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	地域経済振興室			
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
勤労者会館事業						
事業の目的と概要 【目的】 勤労者の福祉の増進と雇用の安定のために設置された施設である勤労者会館は、指定管理者制度を導入し、施設の設置目的を効果的に達成するため、勤労者の文化教養の向上、健康の増進、余暇利用の充実など必要な情報の提供及び知識・技能の習得を図るための各種講座を実施しています。 【概要】 ・指定管理による運営管理 ・施設の修繕・点検等 ・改修工事にかかる工事請負及び監理委託料						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義
勤労者による貸室利用割合	%	47.0	46.0	45.6	利用者全体のうち、勤労者の貸室利用の割合
プール利用者数	人	48,797	48,627	0	プールの利用者数
市が主催または共催で実施する雇用・労働に関するイベントの数	件	7	6	0	勤労者会館で、市が主催または共催で実施する就職面接会や労働関係セミナーなどのイベント数
市が主催または共催で実施する雇用・労働に関するイベントの参加者数	人	234	209	0	勤労者会館で、市が主催または共催で実施する就職面接会や労働関係セミナーなどのイベントに参加した人数
成果の説明	プールは例年、健康増進施設としての利用が高い状況ですが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で休館していたことやボイラー機器の故障、大規模改修工事により、運営ができなかったため、利用者数は0となっております。また同様に、勤労者会館で実施する雇用・労働に関するイベントについても新型コロナウイルス感染症拡大の影響で臨時休館していたことや大規模改修工事により、他の市内の公共施設で実施したことにより、事業の成果(実績)としてはゼロとなっております。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	21,414	20,276	726	△19,550
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	641	642	21	△621
経常収入 小計(a)	22,055	20,918	746	△20,172
給与関係費	5,757	5,743	6,432	689
物件費	105,077	91,936	71,047	△20,889
維持補修費	734	1,162	611	△552
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	5	2	966	964
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	17,476	17,476	17,476	-
費用	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	522	527	592	65
退職手当引当金繰入額	450	128	883	755
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	130,022	116,973	98,006	△18,967
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△107,967	△96,055	△97,260	△1,205
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別支出	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△107,967	△96,055	△97,260	△1,205
一般財源充当額	90,577	78,911	89,027	10,116
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△17,389	△17,144	△8,233	8,912

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための施設利用休止により利用人数が減少したこと及び大規模改修工事による休館のためによる減額(△19,550千円)
物件費	令和2年度に指定管理委託料が大規模改修工事のため休館したことによる減額(△25,745千円)
負担金・補助金・交付金等	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための施設利用休止により使用料の還付による増額(+964千円)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	22,055	20,918	746	△20,172
行政サービス活動支出	112,632	99,829	80,108	△19,721
行政サービス活動収支差額	△90,577	△78,911	△79,362	△451
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	9,665	9,665
投資活動収支差額	-	-	△9,665	△9,665
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△90,577	△78,911	△89,027	△10,116
一般財源充当額	90,577	78,911	89,027	10,116
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 会議室研修室使用料 725,750円(△10,071千円) プール使用料 0円(△10,616千円)

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
施設利用者1人あたりのコスト	平成30年度	146,707 人	886 円	勤労者会館利用者1人あたり 8,310円のコストがかかっています。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、施設利用休止を実施したことや、大規模改修工事を実施したことにより、1人あたりのコストが大幅に増加しています。
	令和元年度	139,111 人	841 円	
	令和2年度	11,793 人	8,310 円	
閉館1日あたりのコスト	平成30年度	308 日	422,149 円	勤労者会館1日あたり942,365円のコストがかかっています。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、施設利用休止を実施したことや、大規模改修工事を令和2年10月から実施したことにより、1日あたりのコストが大幅に増加しています。
	令和元年度	284 日	411,878 円	
	令和2年度	104 日	942,369 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	527	592	65
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	527	592	65
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	347,075	339,264	△7,811	固定負債	4,982	5,339	357
土地	53,936	53,936	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	293,139	275,663	△17,476	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	4,982	5,339	357
建設仮勘定	-	9,665	9,665	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	5,509	5,931	422
有形固定資産	-	-	-	純資産	341,566	333,334	△8,233
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	347,075	339,264	△7,811	純資産の部合計	341,566	333,334	△8,233
				負債及び純資産の部合計	347,075	339,264	△7,811

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

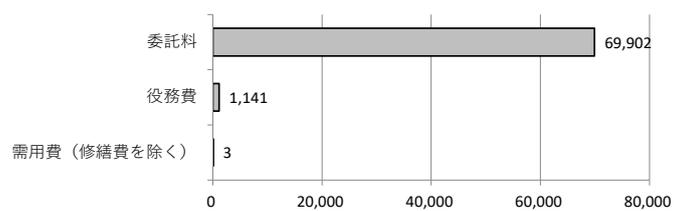
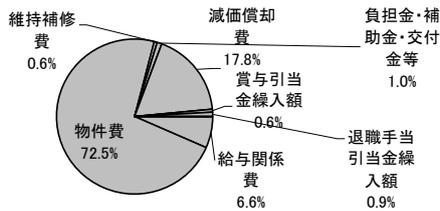
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	0.9人	日	日	7,907
給与関係費等	7,907千円	千円	千円	7,907
内、時間外勤務手当	千円			

貸借対照表の主な増減理由(特微的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	勤労者会館における建物の減価償却による減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立勤労者会館
取得年月日	昭和60年6月1日
建物・工作物の取得価額	873,790 千円
建物・工作物の減価償却累計額	598,127 千円
利用料金収入	726 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		0.1	0.1	0.1	0.0
施設老朽化比率		64.5	66.5	68.5	2.0
受益者負担比率		16.5	17.3	0.7	△ 16.6
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		80.4	79.0	99.2	20.2
経常費用対公共資産比率		14.9	13.4	11.2	△ 2.2

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

- ・コスト全体の7割以上を物件費が占め、指定管理委託料や、令和2年10月から大規模改修工事を実施したことによる工事請負費が占めています。
- ・減価償却費がコスト全体の約18%を占めています。
- ・老朽化率は68.5%で、市保有施設全体の老朽化率57.2%と比較すると、11.3ポイント老朽化が進行している施設となります。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

勤労者会館は、勤労者の福祉の増進と雇用の安定に資するために設置された施設ですが、その対象者である勤労者の利用割合が半数以下となっている現状があったことから、勤労者会館条例施行規則で、勤労者は勤労者以外の者よりも3か月早く貸室の使用の申請ができるように改正しました。(令和3年3月1日施行)
また開館から35年以上経過し老朽化が進んでいたことから、令和2年度から令和3年度にかけて大規模改修工事を実施しており、老朽化比率が改善する予定です。